



生みの親といっしょに
よりよい育ての親に

わたしを きゅっとして
わたしを 見つめて
わたしを 聞いて
わたしを 呼んで

麗(うるわ)しい豊かな台地と 幸せに彩(いろど)られた四季に
生命を育まれている仲間たちよ！！

ゆく河の流れも絶えずして
しかももとの水にあらず
よどみなく浮かぶうたかたは
かつ消えかつ結びて
久しくとどまりたる例(ためし)なし
世の中にある人とすみかと またかくの如(ごと)し

1212年 鎌倉初期の随筆(鴨長明著)の中の一文と久しぶりに読み合わせてみたいと思い、
書いてみました。

近年、多発する自然災害や世界各地で起こる戦争、そして現代の世情を見つめていると
同様の感慨を覚える者は私一人だけではないでしょう、と思ったからです。

また最近の驚くべきニュースでは
「この五月に25度以上の夏日が2～3週間続くと日本の四季は二季になるのではないか！」
とまで言われているのです。

改めて考えて見ますと、この世のすべての国の民は
「気候・風土・文化・歴史・宗教の訓え」の中から
「人格・人生観・人間性・主体性(Agency)」が生まれ国民性が生まれ育ってきたのです。
何度も前から書いてきたことなのですが、日本でのその訓えの基盤は”八百万の神”であり、
自然崇拜から生まれた”畏怖・畏敬”に対する多様な価値観を尊重し合いながら
”あらゆる多様性と共に生きるための”包括的支援を必要とされているのです。



笑ったかす一番 だっこされたかす一番 やさしくされたかす一番
遊んだかす一番 でかけたかす一番 チャレンジしたかす一番

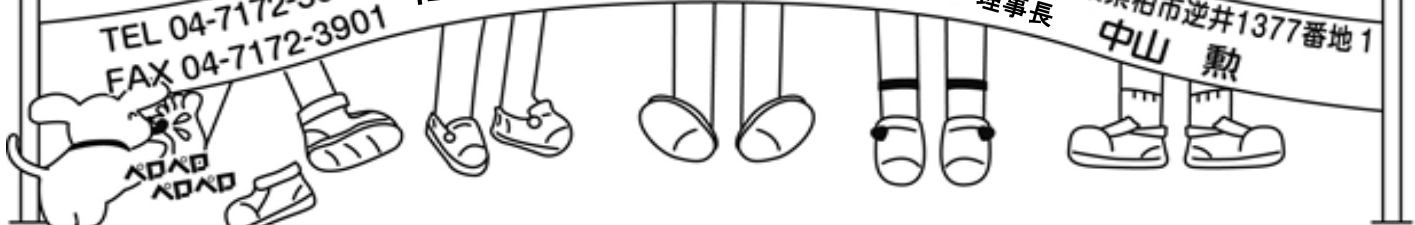


E-mail doushinkai@doushinkai.jp URL <http://doushinkai.jp>

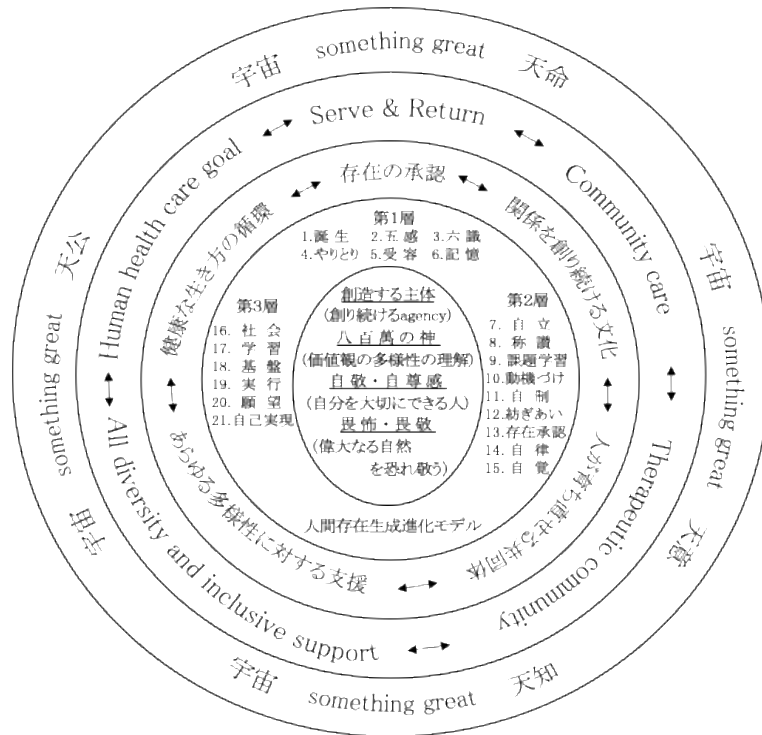
TEL 04-7172-3939
FAX 04-7172-3901

社会福祉法人 童心会

〒277-0042 千葉県柏市逆井1377番地1
理事長 中山 勲



[人の成り立ちの歩みのはじめ]



私たちの[人の成り立ちの歩みのはじめ]は次の考え方から始まりました。

「五感と六識を刺激する0歳からの人間教育」を基盤としました。
そして「人間学と人間科学に基づく人間教育」を見つめてみたのです。

- 人間学とは、意味・価値・生き方を問う知
- 人間科学とは、育ち・学び・関係を実証する知

私たち童心会の目指すべき人間教育文化の原点はここから始まるのです。そして次のように歩み始めました。

- 人間教育とは、関わりの中で自分を創り、人を創る、社会を創る営みである。
- 人間教育とは、人として生き続けること。そのことを学び続ける道である。

そして私たち(社福)童心会は、新しい日本の「道理」にかなう世界観(理:ことわり)であり

「生命観・倫理観・人生観・人間文化」の融合・統合の中で人間性が高められ、
その歴史から生まれた伝承文化なのであるとするならば、私たちは長い間取り組んできたテーマを変えたのです。

テーマ 「新しい”人を創る文化”の創造」
手法 「Serve & Return(存在の承認)」

- おおらかな やりとり
- しなやかな うけこたえ
- たおやかな かかわり (神経発達研究「相互応答」)

今日もまた一日一生を念じながら

すべての仲間たちの Well-being” !! 幸せになろうね！幸せになろうよ！”と
祈り願い続けていくつもりです。どうぞいつまでもお幸せに!!

1

令和8年 6月 吉日
社会福祉法人 童心会
理事長 中山 勲